

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-47

学校名・団体名	浜松市立西部中学校
HPアドレス	http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/seibu-j/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	夢をはぐくむ凧づくりと凧揚げ ～伝統文化の継承～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>[凧づくり・凧揚げのねらい]</p> <p>① 色ある学校づくりの一環としての行事</p> <p>西中三大行事(体育大会、文化発表会、<u>凧揚げ大会</u>)</p> <p>② 浜松市教育総合計画の教育理念「市民協働による人づくり」の推進（地域の文化に親しむことで地域の一員としての自覚を育てる。）</p> <p>小中一貫教育としての実践</p> <p>[勢組のねらい]</p> <p>① 夢をはぐくむ凧づくり」活動の中心とした、学校全体のリーダー育成</p> <p>② 「浜松まつり」における地域を担う人材育成の一環とした活動</p>	

基本方針の確認！

[第1回推進会議・凧会議(組長会)]

第1回推進委員会は、指導者と推進委員で構成され本年度活動方針や学級の担当町の原案を作成した。凧会議(組長会)では、本年度の凧作り、凧揚げ大会についての基本方針を確認した。

[本年度の活動計画の確認]

- ・ 勢組の参加者確認
- ・ 勢組発足式 (7/1 [水] 19:00)
凧づくり開始(7/1 [水] から、毎週水・金曜日午後7時~9時)
- ・ 糸目付(11/22 [日])
- ・ 西中凧揚げ大会(12/12 [土]、予備日12/19 [土])
- ・ 全国凧揚げ浜松大会参加(11/15 [日] 開催予定)

いよいよ凧作りがスタート！

[7月1日 生徒有志の組「勢組」発足会]

勢組は、生徒有志で組織されリーダー(組長)を中心に行っている。「勢(せい)」は「西中の西(せい)」とかけられており、参加生徒の浜松まつりに寄せる思いは強い。勢組には15年の歴史があり多いときには100人以上が参加し、7月から9月の毎週水・金曜日の19:00~21:00に地域の各町凧揚げ会や教職員の指導で凧作りを行っている。また、西中の凧揚げ大会の準備や運営補助などを凧揚げ会と協力して行っている。さらに、全国凧揚げ浜松大会や東日本大震災復興凧揚げ大会に参加をしている。今年は11月15日の全国凧揚げ浜松大会に参加した。勢組を経験した卒業生は、在校生を指導し後進の育成指導に携わるだけでなく、各町凧揚げ会の役職に就いている。

凧揚げ大会に向けて！

[第2回推進会議・凧会議]

- ・ 平成27年度の「夢をはぐくむ凧づくり」活動方針及び協力要請について
- ・ 糸目付式について [11月22日(日)午後1時30分~]
西部中学校体育館
- ・ 西部中凧揚げ大会について [12月12日(土)午前9時30分~]
中田島海浜公園 凧揚げ会場
- ・ 連絡網の確認
- ・ 全国凧揚げ浜松大会について(勢組が参加)



写真/糸目付

[11月22日 凧集会・糸目付式]

凧集会是全校生徒が参加し、勢組が進行を担当した。集会では、校長の話、凧づくり指導者の話に続き、各学級凧の紹介をする。最後には、勢組が練りを披露し締めくくった。午後の糸目付式には、地域の凧揚げ会(約200名)が参集し生徒とともに糸目をつけた。糸目付けの方法は各町秘伝であり、この成否が凧揚げに大きな影響を与えるため厳しい指導がされた。なお、糸目付けには学区の小学校3校と保護司会、親(PTA)なども参加し、凧揚げ大会に備えた。

待ちに待った凧揚げ大会！

[12月12日 西中凧揚げ大会(中田島海浜公園凧揚げ会場)]

今年も大空に生徒が半年かけて製作した大凧が舞い上がった。午前中は、風が弱くどの町も悪戦苦闘した。各町の凧揚げ会も子供たち必死であった。途中小雨が降り始めたが、やめようという声は皆無であった。午後になり適度な風が吹き始めた。そして、楽しみな糸切り合戦が始まった。体と体をぶつけながら、生徒、教員、凧揚げ会が一体となり糸切り合戦を楽しむ姿が見られた。生徒の笑顔や指導者の岡本さんの無言でうなづく姿から「この凧作り・凧揚げ大会」の目的が理解できた。

凧作り・凧揚げ大会を終えて！

[勢組組長の感想]

西部中学校には、有志による凧同好会がある。この有志の会は、西部中学校の「西」を「勢」という字に変えて「勢組(せいぐみ)」という名がついており地域活動室で夜間に活動しています。西部中学校の学区は古くから浜松まつりに参加している伝統ある町が14もあり、それぞれの町の方々から、竹取りに始まり、凧作り、糸目付け、凧揚げにいたるまですべて御指導いただきました。特に中山町の岡本さん、西伊場町の石黒さんには、毎日のように私たちの凧作り準備をお世話いただきました。私たち「勢組」では、「連」という文字をあしらった凧を



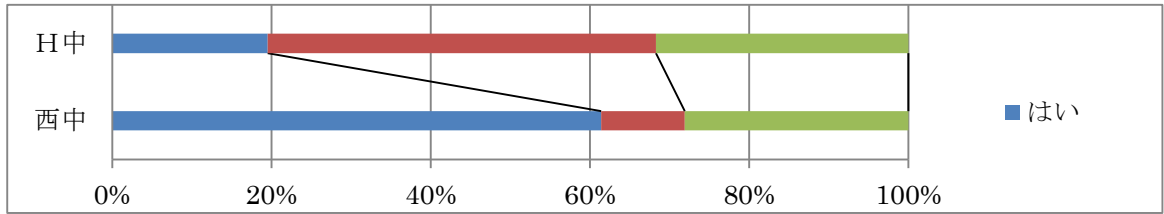
写真/凧揚げ大会

作りました。全学級でも、独自の絵柄の三畳凧を作り凧揚げ大会をしました。先生方や保護者も、それぞれ「校章」「親」の文字をあしらった凧を作り、私たちと糸切り合戦を行いました。この凧作り・凧揚げを通して、凧作りの方法を身に付けるだけでなく、学校を支えてくれる地域の方々とのつながりという、大きな財産を得ることができました。この凧づくり・凧揚げ大会を、今後も西部中学校の「伝統」として引き継いでほしいと思います。

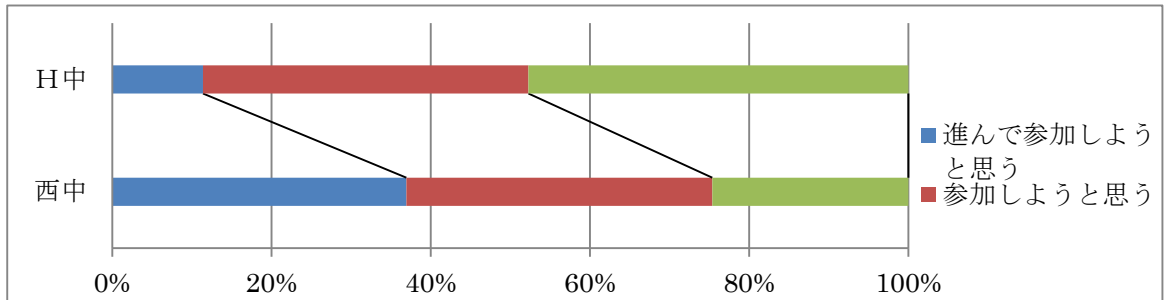
[浜松まつりに対する意識調査]

本校 1年～3年と凧づくり、凧揚げ大会を実施していないH中学校の意識の違いを調査し比較した。なお、H中学校の学区の町も全てが浜松まつりには参加している。

[設問 1 浜松まつりに関心がありますか]



[設問 2 将来、浜松まつりに参加しようと思いませんか]



以上の結果から、西中生の浜松まつりに対する意識や関心の高さが確かめられた。

おわりに！

西中は“凧の学校”と呼ばれる程、凧作りと凧揚げが浜松市の中学校では定着している。本校に赴任した管理職は、まず凧関係者への挨拶まわりから始まる。今日では「凧作り・凧揚げ」が学校づくりの基盤となっている。本実践が、子供たちの浜松まつり継承への想いを深めていることが、卒業生や活動中の生徒の姿から見られる。また、凧づくり・凧揚げは、学校と地域をつなぐ重要な役割を担っている。

しかし、一時期凧作りや凧揚げを縮小しようとする風潮があり、学校と地域に軋轢が生まれようとしたこともあった。しかし、“子供たちの笑顔が見たい”“郷土の文化を大切にしてほしい”という地域の熱い想いが今日の活動に繋がっている。

[参考写真]

凧揚げ大会



下絵



蠟びき



色付け

